



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年4月26日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 賢 (TEL) 03(3231)6811
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	13,930	2.4	769	44.2	790	42.2	569	46.4
29年12月期第1四半期	13,608	△1.0	533	△54.9	555	△54.6	388	△51.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	20 29	20 29
29年12月期第1四半期	13 85	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	102,487	86,969	84.8
29年12月期	104,741	87,119	83.2

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 86,958百万円 29年12月期 87,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	24 00	—	24 00	48 00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	24 00	—	24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,700	△5.4	3,500	△44.3	3,600	△43.8	2,600	△44.9	92 70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2018年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年12月期 1 Q	28,800,000株	29年12月期	28,800,000株
30年12月期 1 Q	751,728株	29年12月期	751,603株
30年12月期 1 Q	28,048,378株	29年12月期 1 Q	28,048,866株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

業績予想については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	平成29年12月期 第1四半期累計期間	平成30年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	13,608	13,930	322	2.4%
営業利益(百万円)	533	769	235	44.2%
経常利益(百万円)	555	790	234	42.2%
四半期純利益(百万円)	388	569	180	46.4%

売上高は、主力製品の価値最大化及び更なる市場浸透・拡大に取り組んだ結果、販売数量が伸長し13,930百万円と前年同期に比べ322百万円(2.4%)増加しました。

各重点領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「レミッチ(透析患者における経口そう痒症改善剤)」は販売数量が伸長したことにより3,005百万円と前年同期に比べ252百万円(9.2%)、「リオナ錠(高リン血症治療剤)」は市場浸透・拡大に注力したことにより1,359百万円と前年同期に比べ139百万円(11.5%)それぞれ増加しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が1,296百万円と前年同期に比べ129百万円(9.1%)減少しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法の普及に注力したことにより「シダトレン スギ花粉舌下液(アレルギー免疫療法薬)」は394百万円と前年同期に比べ122百万円(45.1%)増加しました。
- ・HIV感染症領域におきましては、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が359百万円と前年同期に比べ1,437百万円(80.0%)減少しましたが、平成29年1月に販売を開始した後継品の「デシコビ配合錠(抗HIV薬)」は2,556百万円と前年同期に比べ1,356百万円(113.1%)増加しました。また、「ゲンボイヤ配合錠(抗HIV薬)」は1,503百万円と前年同期に比べ217百万円(16.9%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は販売数量が伸長したこと等により6,954百万円と前年同期に比べ152百万円(2.2%)増加し、販売費及び一般管理費は販売促進費が増加しましたが、研究開発費が減少したこと等により6,206百万円と前年同期に比べ65百万円(1.0%)減少しました。

以上の結果、営業利益は769百万円と前年同期に比べ235百万円(44.2%)、経常利益は790百万円と前年同期に比べ234百万円(42.2%)、四半期純利益は569百万円と前年同期に比べ180百万円(46.4%)それぞれ増加しました。

(2) 財政状態

当第1四半期会計期間末の総資産は、102,487百万円と前事業年度末に比べ2,253百万円(2.2%)減少しました。これは、有価証券が8,490百万円増加しましたが、現金及び預金が4,283百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が3,660百万円、受取手形及び売掛金が2,820百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、15,518百万円と前事業年度末に比べ2,104百万円(11.9%)減少しました。これは、未払法人税等が1,093百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が462百万円、買掛金が459百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、86,969百万円と前事業年度末に比べ149百万円(0.2%)減少しました。これは、主に利益剰余金が104百万円減少したことによるものです。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は1,016百万円です。

導入活動・研究(共同)開発活動の主な成果につきましては、以下のとおりです。

- ・当社が日本国内において販売中の「ミティキュア ダニ舌下錠(アレルゲン免疫療法薬)」(開発番号:T0-203)につきまして、平成30年2月に小児適応に係る用法・用量の追加承認を取得しました。
- ・平成29年9月に日本国内における製造販売承認を取得した「シダキュア スギ花粉舌下錠(アレルゲン免疫療法薬)」(開発番号:T0-206)につきまして、平成30年4月に薬価基準に収載されており、販売開始は6月下旬を予定しております。
- ・Menlo Therapeutics社と日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結し、当社と日本たばこ産業株式会社で共同開発を進めてきたニューロキニン1(NK-1)受容体アンタゴニスト(国際一般名:serlopitant)(開発番号:JTS-661)につきまして、現在実施中の国内第Ⅱ相臨床試験の中止を決定いたしました。なお、本剤の今後の国内開発については検討中です。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2018年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成30年2月6日「平成29年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。なお、平成30年4月実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込み済みです。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,458	2,174
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	9,836	6,175
受取手形及び売掛金	29,123	26,302
有価証券	24,957	33,448
商品及び製品	6,036	7,214
仕掛品	609	708
原材料及び貯蔵品	3,480	3,358
その他	3,478	2,543
流動資産合計	83,980	81,924
固定資産		
有形固定資産	5,540	5,458
無形固定資産	817	814
投資その他の資産	14,403	14,290
固定資産合計	20,761	20,563
資産合計	104,741	102,487
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,242	7,783
未払法人税等	1,396	303
賞与引当金	684	1,337
役員賞与引当金	52	14
返品調整引当金	5	5
その他	5,486	4,271
流動負債合計	15,868	13,715
固定負債		
退職給付引当金	895	921
その他	858	880
固定負債合計	1,753	1,802
負債合計	17,622	15,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	76,238	76,134
自己株式	△1,480	△1,480
株主資本合計	86,364	86,259
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	745	698
評価・換算差額等合計	745	698
新株予約権	9	11
純資産合計	87,119	86,969
負債純資産合計	104,741	102,487

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	13,608	13,930
売上原価	6,802	6,954
売上総利益	6,806	6,976
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,051	1,145
給料及び手当	1,296	1,298
賞与引当金繰入額	550	558
研究開発費	1,152	1,016
その他	2,220	2,188
販売費及び一般管理費合計	6,272	6,206
営業利益	533	769
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	0	0
為替差益	1	0
その他	13	9
営業外収益合計	22	20
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	1	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	555	790
特別損失		
固定資産除却損	16	0
特別損失合計	16	0
税引前四半期純利益	539	789
法人税等	150	220
四半期純利益	388	569

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

2018年12月期 第1四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
II 2018年12月期 第1四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 四半期貸借対照表	P.5
④ 設備投資の状況	P.6
⑤ 非資金項目	P.6
⑥ 研究開発の状況	P.6
III 2018年12月期 業績予想	P.7
① 損益計算書	P.7
② 製商品別売上高	P.9
③ 設備投資の状況	P.10
④ 非資金項目	P.10
⑤ 配当	P.10
【将来に関する記述等についてのご注意】	P.10

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てて表示しております。

2018年4月26日



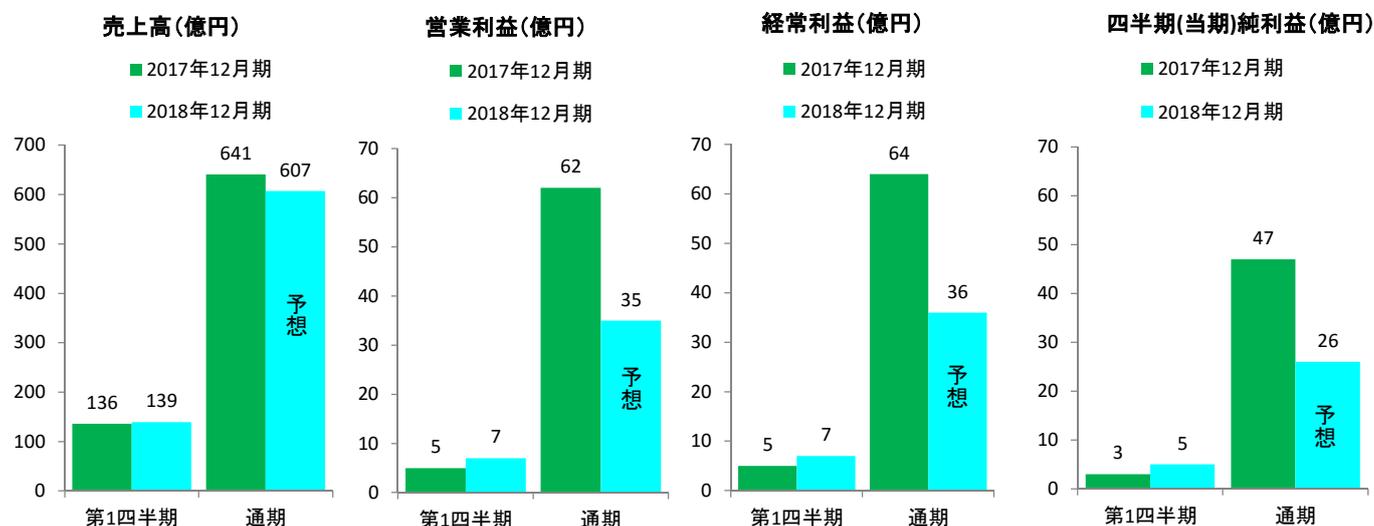
鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

2018年12月期 業績予想については、前回発表（2018年2月6日「平成29年12月期 決算短信(日本基準) (非連結)」)の予想数値から変更はありません。なお、2018年4月実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込み済みです。

(単位:百万円)	2017年12月期 第1四半期 A	2018年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2017年12月期 実績	2018年12月期 予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	13,608	13,930	322	2.4	64,135	60,700	23.0
営業利益	533	769	235	44.2	6,281	3,500	22.0
経常利益	555	790	234	42.2	6,403	3,600	21.9
四半期(当期)純利益	388	569	180	46.4	4,718	2,600	21.9
(参考)							
研究開発費	1,152	1,016	△136	△11.8	4,608	4,710	21.6
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 13.85	20.29	6.44		168.22	92.70	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 0.5	0.7	0.2		5.5	—	
総資産経常利益率	(%) 0.6	0.8	0.2		6.3	—	
売上高営業利益率	(%) 3.9	5.5	1.6		9.8	—	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 0.4	0.5	0.1		4.6	—	



② 財政状態

(単位:百万円)	2017年12月期 A	2018年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	104,741	102,487	△2,253	△2.2
純資産	87,119	86,969	△149	△0.2
自己資本比率	(%) 83.2	84.8	1.6	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 3,105.68	3,100.31	△5.37	

Ⅱ 2018年12月期 第1四半期実績

① 四半期損益計算書

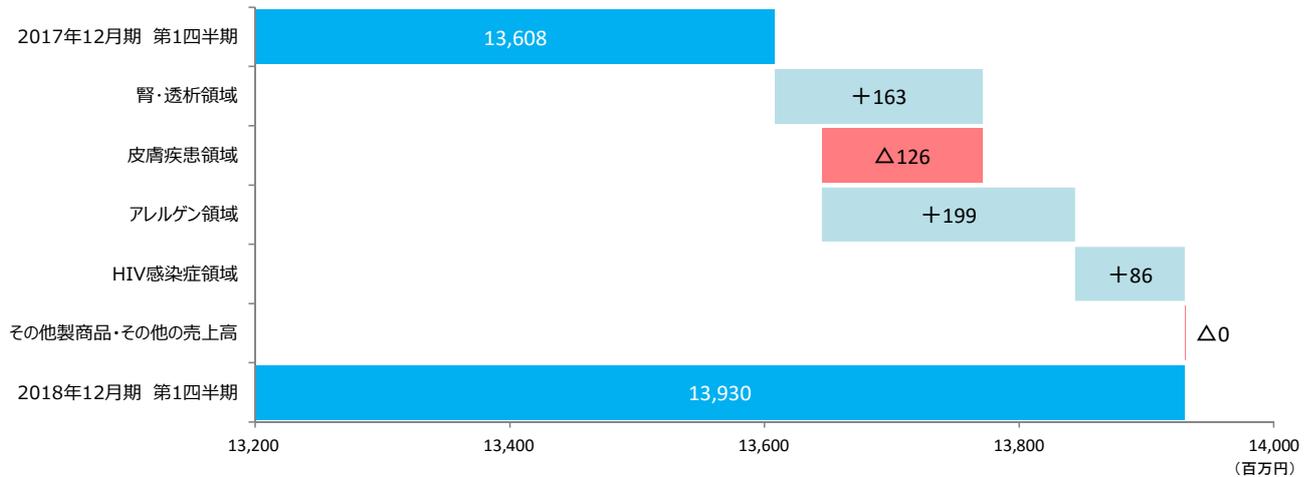
(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
売上高	13,608	13,930	322	2.4
製商品売上高	13,382	13,550	168	1.3
腎・透析領域	5,116	5,279	163	3.2
皮膚疾患領域	2,145	2,018	△126	△5.9
アレルギー領域	431	631	199	46.2
HIV感染症領域	4,371	4,457	86	2.0
その他	1,317	1,163	△154	△11.7
その他の売上高	225	380	154	68.2
売上原価	6,802	6,954	152	2.2
製商品売上原価	6,788	6,941	152	2.2
その他の原価	13	13	△0	△3.1
売上総利益	6,806	6,976	170	2.5
販売費及び一般管理費	6,272	6,206	△65	△1.0
販管費(研究開発費除く)	5,120	5,190	70	1.4
研究開発費	1,152	1,016	△136	△11.8
営業利益	533	769	235	44.2
営業外収益	22	20	△2	-
営業外費用	1	0	△1	-
経常利益	555	790	234	42.2
特別損失	16	0	△15	-
税引前四半期純利益	539	789	250	46.4
法人税等	150	220	69	-
四半期純利益	388	569	180	46.4

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2017年12月期	2018年12月期	増減 B-A
	第1四半期	第1四半期	
	A	B	
売上原価	50.0	49.9	△0.1
販売費及び一般管理費	46.1	44.6	△1.5
研究開発費	8.5	7.3	△1.2
営業利益	3.9	5.5	1.6
経常利益	4.1	5.7	1.6
四半期純利益	2.9	4.1	1.2

【対前年同期増減要因】

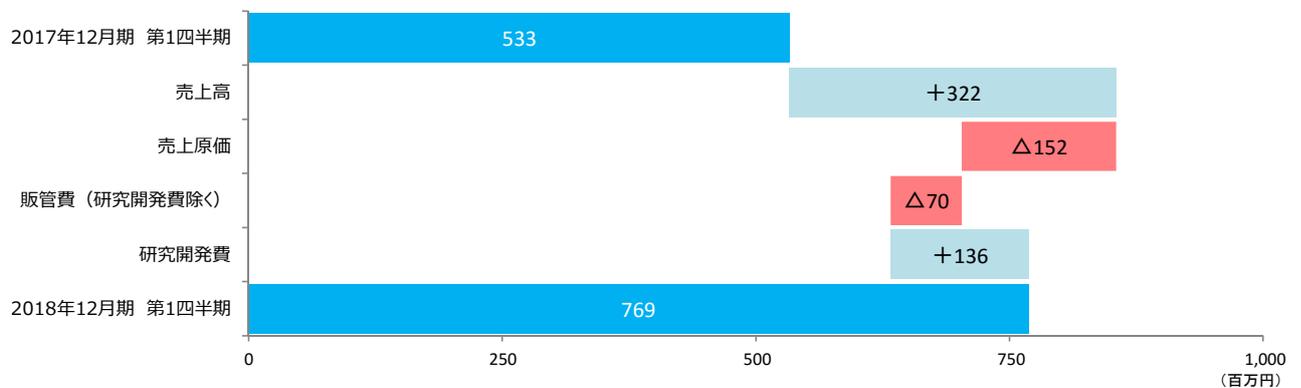
売上高（13,930百万円 対前年同期+322百万円）



主な増減要因

腎・透析領域	: レミッチ	+252百万円	、	リオナ錠	+139百万円
	: 注射用フサン	Δ109百万円			
皮膚疾患領域	: アンテベート	Δ129百万円			
アレルゲン領域	: シダトレン スギ花粉舌下液	+122百万円			
HIV感染症領域	: デンコビ配合錠	+1,356百万円	、	ゲンボイヤ配合錠	+217百万円
	: ツルバダ配合錠	Δ1,437百万円			
※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照					

営業利益（769百万円 対前年同期+235百万円）



主な増減要因

売上原価	: 販売数量の伸長による増加
販管費（研究開発費除く）	: 販売促進費の増加
研究開発費	: 臨床試験費用（TO-203小児鼻炎）の減少、共同開発費用（JTS-661）の増加

経常利益（790百万円 対前年同期+234百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（569百万円 対前年同期+180百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2017年12月期 第1四半期 A	2018年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	13,382	13,550	168	1.3
レミッチ	2,753	3,005	252	9.2
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
デシコビ配合錠 ※2	1,199	2,556	1,356	113.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ゲンボイヤ配合錠	1,285	1,503	217	16.9
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
リオナ錠	1,219	1,359	139	11.5
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
アンテベート ※1	1,426	1,296	△129	△9.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ビオスリー	563	573	10	1.9
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	475	434	△41	△8.7
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	271	394	122	45.1
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ツルバダ配合錠	1,797	359	△1,437	△80.0
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ロコイド ※1	336	348	12	3.6
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
注射用フサン ※1	424	314	△109	△25.8
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ゼフナート	209	241	32	15.3
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
マグセント	223	199	△23	△10.5
切迫早産における子宮収縮抑制剤				
子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
ユリノーム錠 ※1	242	165	△77	△31.9
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
その他製商品	954	798	△156	△16.4

※1 自社品

※2 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2017年12月期 第1四半期 A	2018年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	3,631	3,433	△197	△5.4
自社品比率 (%)	27.1	25.3	△1.8	-

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2017年12月期		2018年12月期		増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	構成比 (%) (当四半期)
	A	B	第1四半期				
流動資産	83,980	81,924			△2,055	△2.4	79.9
現金及び預金	6,458	2,174			△4,283		
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	9,836	6,175			△3,660		
受取手形及び売掛金	29,123	26,302			△2,820		
有価証券	24,957	33,448			8,490		
たな卸資産	10,126	11,280			1,153		
その他	3,478	2,543			△935		
固定資産	20,761	20,563			△198	△1.0	20.1
有形固定資産	5,540	5,458			△82		
無形固定資産	817	814			△3		
投資その他の資産	14,403	14,290			△112		
投資有価証券	7,478	7,608			130		
長期前払費用	5,748	5,483			△264		
その他	1,176	1,198			21		
資産合計	104,741	102,487			△2,253	△2.2	100.0
流動負債	15,868	13,715			△2,152	△13.6	13.4
買掛金	8,242	7,783			△459		
未払法人税等	1,396	303			△1,093		
賞与引当金	684	1,337			652		
その他	5,544	4,291			△1,252		
固定負債	1,753	1,802			48	2.8	1.7
負債合計	17,622	15,518			△2,104	△11.9	15.1
株主資本	86,364	86,259			△104	△0.1	84.2
評価・換算差額等	745	698			△46	△6.2	0.7
新株予約権	9	11			1	14.3	0.0
純資産合計	87,119	86,969			△149	△0.2	84.9
負債純資産合計	104,741	102,487			△2,253	△2.2	100.0

主な増減要因

(流動資産)

有価証券 : 債券、信託受益権の取得による増加、譲渡性預金の償還による減少

たな卸資産 : 商品の増加

(流動負債)

その他 : 未払金、未払消費税等の減少

④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
設備投資額	128	165	37	29.1
有形固定資産	56	99	43	77.9
無形固定資産	72	65	△6	△8.9

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
減価償却費	299	249	△49	△16.6
長期前払費用償却費	262	268	6	2.4

⑥ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤		Phase II				・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 (適応追加) ・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
JTZ-951	腎性貧血	経口剤			Phase III			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
皮膚疾患領域								
JTE-052	アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase II			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
JTS-661	そう痒症	経口剤		Phase II ※				・Menlo Therapeutics, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 ※Phase II 試験中止、今後の開発方針について検討中
アレルギー領域								
TO-203 「ミテイクア タニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中
	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠					承認	・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2018年2月に小児適応に係る用法・用量の追加承認取得

前回公表時 (2018年2月6日) からの変更点

- ・TO-203「ミテイクア タニ舌下錠」(小児アレルギー性鼻炎)の小児適応に係る用法・用量の追加承認取得
- ・TO-206「シダキア スギ花粉舌下錠」は2018年6月下旬に販売を開始予定 (前回公表時:開発段階「承認」)
- ・JTS-661の開発段階に「Phase II ※」、備考欄に「※Phase II 試験中止、今後の開発方針について検討中」と追記

(参考)

2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT) 治療薬であるcalcifediol徐放製剤 (米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売) について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。

Ⅲ 2018年12月期 業績予想

2018年12月期 業績予想については、前回発表（2018年2月6日「平成29年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値から変更はありません。なお、2018年4月実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込み済みです。

① 損益計算書

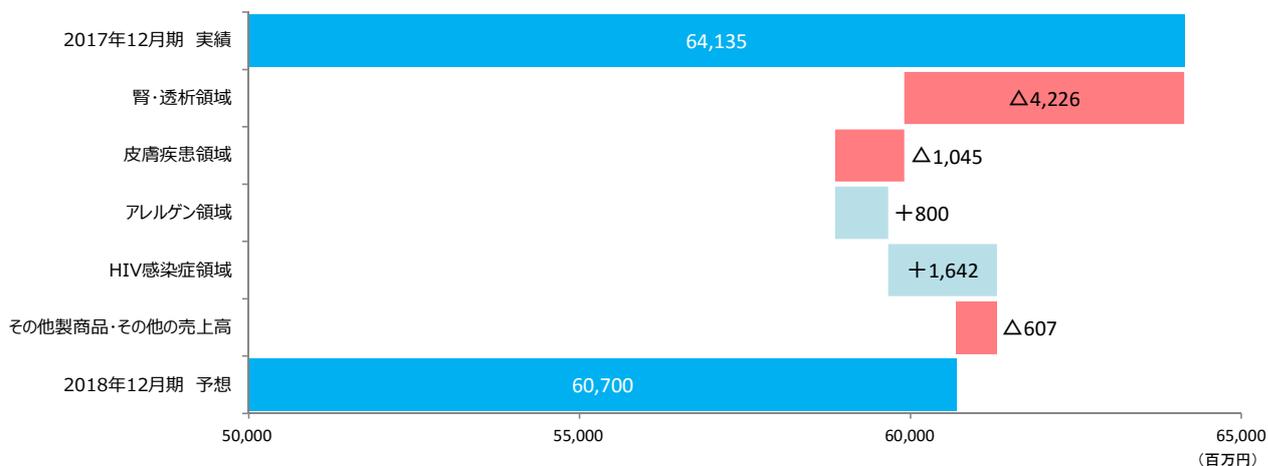
(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%)
	実績 A	予想 B		
売上高	64,135	60,700	△3,435	△5.4
製商品売上高	62,935	59,810	△3,125	△5.0
腎・透析領域	25,276	21,050	△4,226	△16.7
皮膚疾患領域	9,905	8,860	△1,045	△10.6
アレルギー領域	2,099	2,900	800	38.2
HIV感染症領域	19,777	21,420	1,642	8.3
その他	5,877	5,580	△297	△5.1
その他の売上高	1,199	890	△309	△25.8
売上原価	31,293	30,400	△893	△2.9
売上総利益	32,841	30,300	△2,541	△7.7
販売費及び一般管理費	26,559	26,800	240	0.9
販管費（研究開発費除く）	21,950	22,090	139	0.6
研究開発費	4,608	4,710	101	2.2
営業利益	6,281	3,500	△2,781	△44.3
経常利益	6,403	3,600	△2,803	△43.8
当期純利益	4,718	2,600	△2,118	△44.9

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2017年12月期	2018年12月期	増減
	実績 A	予想 B	
売上原価	48.8	50.1	1.3
販売費及び一般管理費	41.4	44.2	2.8
研究開発費	7.2	7.8	0.6
営業利益	9.8	5.7	△4.1
経常利益	10.0	5.9	△4.1
当期純利益	7.4	4.3	△3.1

【対前期実績増減要因】

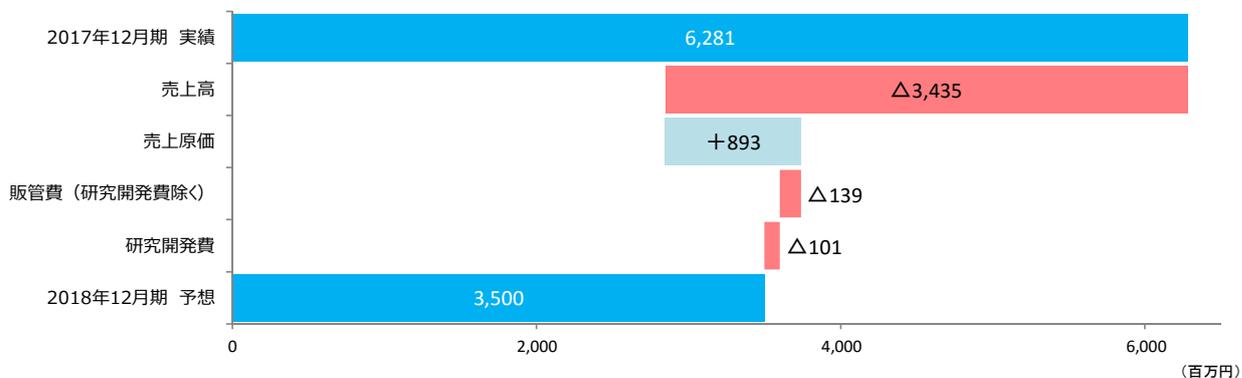
売上高 (60,700百万円 対前期実績△3,435百万円)



主な増減要因				
腎・透析領域	: レミッチ	△3,308百万円	注射用フサン	△1,017百万円
	: ユリノーム錠	△320百万円	リオナ錠	+614百万円
皮膚疾患領域	: アンテベート	△652百万円	ゼフナート	△123百万円
アレルギー領域	: シダトレン スギ花粉舌下液	+314百万円		
HIV感染症領域	: デシコビ配合錠	+4,381百万円	ゲンボイヤ配合錠	+964百万円
	: ツルバダ配合錠	△3,551百万円		
その他製商品・その他の売上高	: 手数料収入	△292百万円		

※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照

営業利益 (3,500百万円 対前期実績△2,781百万円)



主な増減要因	
売上原価	: 売上高の減少
販管費 (研究開発費除く)	: 販売費の増加
研究開発費	: 共同開発費用 (JTS-661) の増加、共同開発費用 (JTE-052) の減少

経常利益 (3,600百万円 対前期実績△2,803百万円)

特記事項: 特になし

当期純利益 (2,600百万円 対前期実績△2,118百万円)

特記事項: 特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%)
	実績 A	予想 B		
製商品売上高	62,935	59,810	△3,125	△5.0
デシコビ配合錠 ※2	9,218	13,600	4,381	47.5
抗ウイルス化学療法剤〔抗HIV薬〕 [HIV感染症領域]				
レミッチ	13,838	10,530	△3,308	△23.9
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ゲンボイヤ配合錠	6,325	7,290	964	15.3
抗ウイルス化学療法剤〔抗HIV薬〕 [HIV感染症領域]				
リオナ錠	6,245	6,860	614	9.8
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
アンテベート ※1	6,282	5,630	△652	△10.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ビオスリー	2,545	2,680	134	5.3
活性生菌製剤〔整腸剤〕 [その他]				
ケイキサレート ※1	2,123	1,930	△193	△9.1
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	1,295	1,610	314	24.3
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ゼフナート	1,483	1,360	△123	△8.3
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
ロコイド ※1	1,411	1,320	△91	△6.5
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
マグセント	1,115	1,080	△35	△3.2
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
注射用フサン ※1	2,047	1,030	△1,017	△49.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
コリノーム錠 ※1	1,020	700	△320	△31.4
尿酸排泄薬〔高尿酸血症治療剤〕 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	3,941	390	△3,551	△90.1
抗ウイルス化学療法剤〔抗HIV薬〕 [HIV感染症領域]				
その他製商品	4,040	3,800	△240	△6.0

※1 自社品

※2 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減	増減率 (%)
	実績 A	予想 B		
自社品売上高	16,323	14,680	△1,643	△10.1
自社品比率 (%)	25.9	24.5	△1.4	-

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
設備投資額	931	1,166	234	25.1
有形固定資産	714	945	230	32.3
無形固定資産	217	221	3	1.5

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
減価償却費	1,174	1,128	△46	△3.9
長期前払費用償却費	1,061	961	△100	△9.4

⑤ 配当

		2017年12月期	2018年12月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
		実績 A	予想 B		
1株当たり配当金	(円)	48	48	0	0.0
配当性向	(%)	28.5	51.8	23.3	-

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。